令和７年度 第３回 学校運営協議会

１．日時 令和７年 11 月 11 日（水） ９:15～11:15

２．出席者

（１）学校運営協議会委員

【委員①】元県立高校校長

【委員②】PTA 会長

【委員③】地元（中瀬４区）自治会長

【委員④】社会福祉法人　管理者　社会福祉士　精神保健福祉士

【委員⑤】一般企業代表取締役社長

【委員⑥】浜名区振興課課長補佐

【委員⑦】社会福祉法人　児童発達支援センター長　医学博士

（２）校内教職員

校長 副校長 教頭　事務長 小学部主事 中学部主事　高等部主事 自立グループ主任 教務主任

３．会議次第

（１）会長あいさつ

（２）校長あいさつ

（３）第２回学校運営協議会を受けての報告

「令和８年度けやき祭について」

「教職員の働き方について」

（４）生徒代表との意見交換（20 分間）

（５）校内見学（30 分間）

（６）協議「子どもの姿・声を受けて学校経営を考える」

（７）各グループからの報告

（８）今後の予定

４．協議等記録

〇会長あいさつ

今回の運営協議会は、生徒たちの生の声を聞く。事前に内容について指導をしていないということなので生の声が聞けると思う。そして保護者の方にも参加を募り、参加してくださっている。以前勤めていた学校では生徒の参加を募ったこともあった。その後の学校活動に活かされたことがあった。

○校長あいさつ

新しい駐車場が 11 月から使用が始まった。熊対策について今後危機管理に追加していく。子どもたちはけやき祭に向けて活動している。明日は学校全体で開会式を行う。新しい取り組みで同じ学校の子どもたちという仲間意識やつながりが多く持てるとよいと考えている。来年度に向けての第１歩と思っている。来年度に向けて子どもの声を大切に、保護者の評価を受けて計画を立てていきたい。新しい視点、御意見をいただきたい。

○第２回学校運営協議会を受けての報告

「令和８年度けやき祭について」各学部の報告

小：情報発信を積極的に行う。ポスター、インスタ等。
　　福祉事業所の出店募集。
　　互いの学部の活動が見える工夫をしたい。
　　遊びコーナーを検討していけるとよい。

中：地域と連携した学習（花植えや野菜づくり、地域防災など）について展示発表するなど、販売以外の方法も含めた学習成果の発表の仕方を検討している。
　　他学部の様子を見に行きたい。

高：販売会、学習発表。
　　全校のリーダーとして案内、放送、受付、他学部の手伝いなどを考えている。

「教職員の働き方について」

もっと地域の方に子どものこと、学校のことを知ってもらう機会、またご自身のスキルを活かせる機会となるよう、ボランティアの募集の形づくりを進めている。ボランティアさんの思いと、手伝ってほしいと思うところをうまくマッチングさせることが一番大切なところ。マッチングがうまくできるシステムの導入を静岡大学情報学部教授森田純哉氏の協力を得ながら推進中。

○生徒代表との意見交換（20 分間）

「こんな学校にしたい」

副会長：みんなで明るい学校にしたいです。そのために笑顔で挨拶を心掛けている。困っている人がいたらみんなで声を掛け合って助け合える学校にしたい。他の学年、他学部の友達とも関わりたい。

会　長：笑顔あふれる学校にしたい。

全会長：笑顔あふれる学校にしたい。

【質問①】

委員⑤：コミュニケーションをとるときに笑顔は大切。自分から笑顔で話をすることが大切。みんなを笑顔にするために努力していることは。

会　長：笑顔をつくること
前会長：いろいろな人とコミュニケーションをとることがよい
副会長：笑顔であいさつしたい

【質問②】
委員⑦：生活の中で一番うれしかったこと、残念な思い出は。
会　長：修学旅行が楽しかった。
前会長：修学旅行の水族館で生き物を見たこと。ライフスポーツカップで優勝できなかったことが悔しい。
副会長：校外学習が楽しかった。

【質問③】
委員③：生徒会の取り組みは。
会　長：学部集会やけやき祭。ダンスをやろうと意見が出ている。
前会長：去年は挨拶運動を行った。ライフスポーツカップの役割を決めた。どのようなスポーツをやりたいのかを聞いて種目を考えた。

【質問④】
委員⑥：生徒会活動で楽しかったことは。
会　長：ライフスポーツカップ、高等部みんなで行う行事が楽しかった。
前会長：みんなと協力したライフスポーツカップが楽しかった
副会長：みんなで頑張ったシャトルラン。

【質問⑤】
委員④：好きな給食は。
副会長：カレーライス、野菜
会　長：ひじき
前会長：唐揚げ

【質問⑥】
委員①：笑顔あふれる、挨拶が学校のキーワードになりそう。笑顔を作らないといけないときがある。作り方を知ってますか。教わったことはああありますか。
会　長：無理して笑顔を作るのも大切。
前会長：聞いたことはないが、楽しいときに笑顔になる。
副会長：明日も来たくなる学校（ならば笑顔になれる）

【質問⑦】
委員⑤：もっと笑顔にしたいと思い立候補したと思いますが、もし点数を付けるとし

たら何点ですか。
会　長：高等部の中では 80 点
前会長：80 点　ありがとうの木を作ろうと思ったがやれなかった。
副会長：70 点

○校内見学（30 分間）

○協議　「子どもの姿・声を受けて学校経営を考える」

１グループ	委員⑤：校内見学からけやき祭を楽しみにしている姿がよく分かった。 ：生徒会がやりたいことをよく子どもたちと話をして実現していけるとよい。子どもたちはやりたいことがきっとあると思う。 ：学部を越えて関わる工夫として昼休みをうまく活用していけるとよいのでは。 委員②：けやき祭に向けた学習の途中経過が見られたことがよかった。 ：あいさつ運動はよい取組。学部を越えて実施していけるとよい。 ：けやき祭は、全校の児童生徒、保護者、地域が一つになるよい機会だと思う。
２グループ	委員③：生徒がワクワクしながらけやき祭の準備をする様子が見られた。 委員⑥：作る活動で終わるのではなく、当日、それぞれの頑張りを学部全体で認めてあげられるような場面があるとよい。 委員⑥：先日、地域の催しで子供たちの良い姿を見た。自分の意志でやることを選び、工夫する中でやってみたいという気持ちが生まれ、目が輝く。先に活動があるのではなく、生徒の関心や育てたい力を考えて教材を用意し、周りが手を出さないで待ってみる姿勢、その積み重ねが大事だと思う。
３グループ	委員⑦：先生方がたの楽しそうに生徒と関わっている様子が見られた。 委員①：生徒達から「笑顔」というキーワードをもらったので学校経営の理念として取り組んでいくことが良いのではないか？ 委員①：生徒と学校が意見交換する機会を設けたらどうか？ 委員④：小、中、高のつながりや関りが多く持てるように交流する活動をもっと増やしたらどうか？